



ASUNARO INSTITUTION

2018

3

Vol.50 特別記念号

本気の遊びと本気の仕事。
だから今日も頑張れる

ホームページがリニューアルされました

↓↓↓ 新URLはこちら

esashi-fukushikai.com/



知的障害者福祉に携わった37年間を振り返る

理事長 樋口 英俊

私は、この知的障害者福祉の仕事を生業として37年が経過しようとしている。前任地、古平福祉会10年、当地江差福祉会27年、大学を卒業後この世界に身を投じ疾風の如くあつという間に時が過ぎた感もあるし、正に光陰矢の如しでもある。

取り組んだ職責を顧みると、前任地においては利用者の就労自立できる職場を、しかも最低賃金以上の雇用水準を維持でき、施設を出て地域社会に生活の場を求め、就労自立、生活自立、経済自立の3つのテーマを確実に推進することに軸足を置き奔走し実績も残してきた。

江差福祉会においては、事ある毎に申し述べてきたが定員40名でスタートしたあすなる学園が、今春で420名を超え、27年間で10倍強の現実、また、江差町の人口における当法人関係者が10%にあたる800人を超える現実までを要因分析すると、当法人改定HPでも掲載したが、法人利用者の利用ニーズを余すことなく補完、充足した結果が成果の賜物といえる。

利用者は利用目的、意図を明確に持ち合わせている事に重きを置き

- ① 有益、有効な労働内容を開発し、更により多くの労働対価を保障し、自らの力で生活設計が描ける環境造り。
- ② 地域社会においての生活拠点の質が高い事、GH、CHのハードソフト両面が優れている場を造る。
- ③ 田舎のハンディを逆手に取り、得た収入を活用し文化に触れる機会を積極的に造る。即ち田舎からの脱出、旅行の促進が田舎でも居住できる意義を見出す。

終わりに、改定HPを是非覗いてほしい。そこには利用者の自信にあふれた笑顔、誇りにあふれた笑顔、喜びにあふれた笑顔がしかも生き生きとした表情が運営スローガンの3本の柱の各場面に清々しくあふれていると感じるのは自分だけではないと思うが。(決して手前味噌ではなく)

広島～福岡に行ってきました

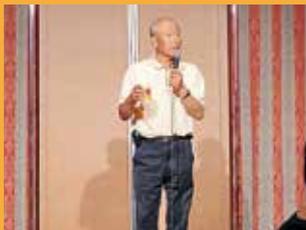
去る9月24日～9月27日の3泊4日の日程で、九州(広島・島根・福岡)に総勢180名で行って来ました。

行きは新幹線、帰りは飛行機と移動手段を選ばずに対応出来ちゃうのも、経験という名の武器がそこにあるからです。最近、法人内でホテルを運営している事もあり宿泊先にも拘ります。

最高のサービスを提供する為には最高のサービスを受けるに限ると樋口理事長は言います。

私も日々、利用者さんの感性の奥深さに勉強させられることが多いですが、江差福祉会は今年も真剣に遊んでいます。

- ① 平和記念公園・原爆ドーム
- ② 宮島(厳島神社)
- ③ 出雲大社
- ④ 松江城・郷土館



ご家族より

樋口理事長 様

お世話になっております。

この度は、昨年に引き続き、初めての地となる広島・出雲・松江・福岡(私は2回目です)への研修旅行に参加をさせていただきまして、本当にありがとうございます。

お礼の連絡が遅れましたことをお詫びいたします。

理事長先生におかれましては、本当にお忙しいところを広島1泊というハードスケジュールの中でご一緒いただきまして恐縮に思っております。

広島平和公園や厳島神社、出雲大社と新たな地を訪れるということは、非常に感慨深いものがありますとともに、とても楽しく見学をさせていただきました。

いつも思うことですが、職員の皆様が利用者の皆様に対する接し方や、利用者の皆様についても、列車やバスへの乗車を含め、集合時間の徹底など私たちが教えられることばかりで恐縮しているところです。

今年についても、家族の費用負担もなく心苦しく感じておりますが、また機会がありましたらお声をかけていただければ幸いです。

これからも、どうぞよろしくお願いを申し上げ、お礼のご挨拶に代えさせていただきます。

本当にありがとうございました。

山本廉斗の父母
山本 哲
ひづる

in HAWAII

1/6~1/11

今回のハワイは、総勢166名での旅行となりました。

現地では、アウラニディズニーリゾートチームとワイキキチームに別れて、各グループごとに思い思いの休日をおすごしました。

正月シーズンということもあり芸能人の姿もちらほら。写真に快く応じてくださいました。

又、今回は成人の方も数多く参加していただき、ハワイで成人のお祝いと、一生に一度の思い出になったようです。



利用者の感想



日向 愛美

行くまではとっても不安でした。着いてからもお金がドルになったり戸惑う事もあったけど、最終的にはとっても楽しかったし、もう1回行きたいって思いました。



市川 かずき

外国の料理が合わなくてお腹を壊してばっかだったけど、初めての海外旅行は面白かったです。成人式のお祝いもしてもらえて嬉しかったです。これからも色々な所に行ってみたいです。



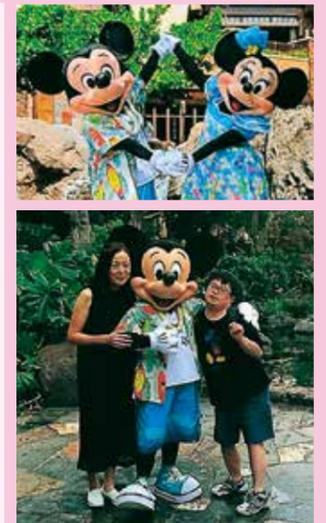
西根 拓倫

ディズニーホテルが楽しかったです。ホテルのプールでお母さんと遊べたのも良い思い出になりました。また行きたいです。

ご家族からのお礼状

拝啓 いつも大変お世話になっております。今回、ハワイ研修の機会を頂きました事、誠にありがとうございました。アウラニディズニーリゾートは、真実がディズニーが大好きなこともあり、本当に楽しく感じ、生涯忘れられない思い出となりました。心より感謝申し上げます。利用者様、職員の皆様、保護者様と親睦できた事も大変良かったです。今後もある学園のご発展をお祈り申し上げます。まずは書中にて、お礼申し上げます。敬具

岡本 勢子



知内 FD センター進捗状況



知内FDセンター4月開設に向けて

知内FDセンター開設準備室 室長 松崎輝幸

私は昨年4月より知内町役場から派遣されています松崎です。4年前、樋口理事長にお会いし、渡島西部地区に障害者の働く場を何とか出来ないものかと相談に行ったのがきっかけで、樋口理事長のご理解とご協力のおかげで、知内町湯ノ里へ授産施設（FDセンター）開設の運びとなりました。知内町及び近隣の町にとって、大変期待しているところであります。

昨年9月着工し工事も予定通り進んでおり、授産施設及びグループホームも外観がすでに終わっており、3月上旬には完成します。

4月より利用者さん30名がグループホームで生活することになります。慣れない生活環境で戸惑う事も色々あると思いますが、職員と一緒に協力して行ければと考えております

江差福祉会は三本の柱で構成されており、「就労・生活支援・遊びと文化の収集」、この基本サイクルをしっかりと実践に向けて実施していくことが重要であります。私も4月より江差福祉会職員の一員として微力ですが、利用者さんや職員と共に災害備蓄用の米粉ビスケット等を製造し、少しでも利用者さんの工賃を上げ、今後益々江差福祉会が知内町で色々な展開ができるよう頑張りたいと思います。

2017年4月～12月

災害備蓄製品の販売状況

平成29年度の災害備蓄用品の受注状況を報告させていただきます。

災害備蓄用パンでは9月から11月にかけて、5年前に納入した災害用食糧の入れ替え分として、三井不動産ビルへ30万缶の納入がありました。

フリーズドライビスケットでは10月から12月にかけて、東京都帰宅困難者用食糧として13万食分39万個の納入がありました。

しかし、東日本大震災から5年が経過した分の入れ替え需要も落ち着き、官公庁の入札案件による受注が減少している事もあり、12月末での対前年比出荷数で災害備蓄用パン93.5%、エコパッケージ102.4%、フリーズドライビスケット95%、フリーズドライご飯67.4%と苦戦を強いられています。

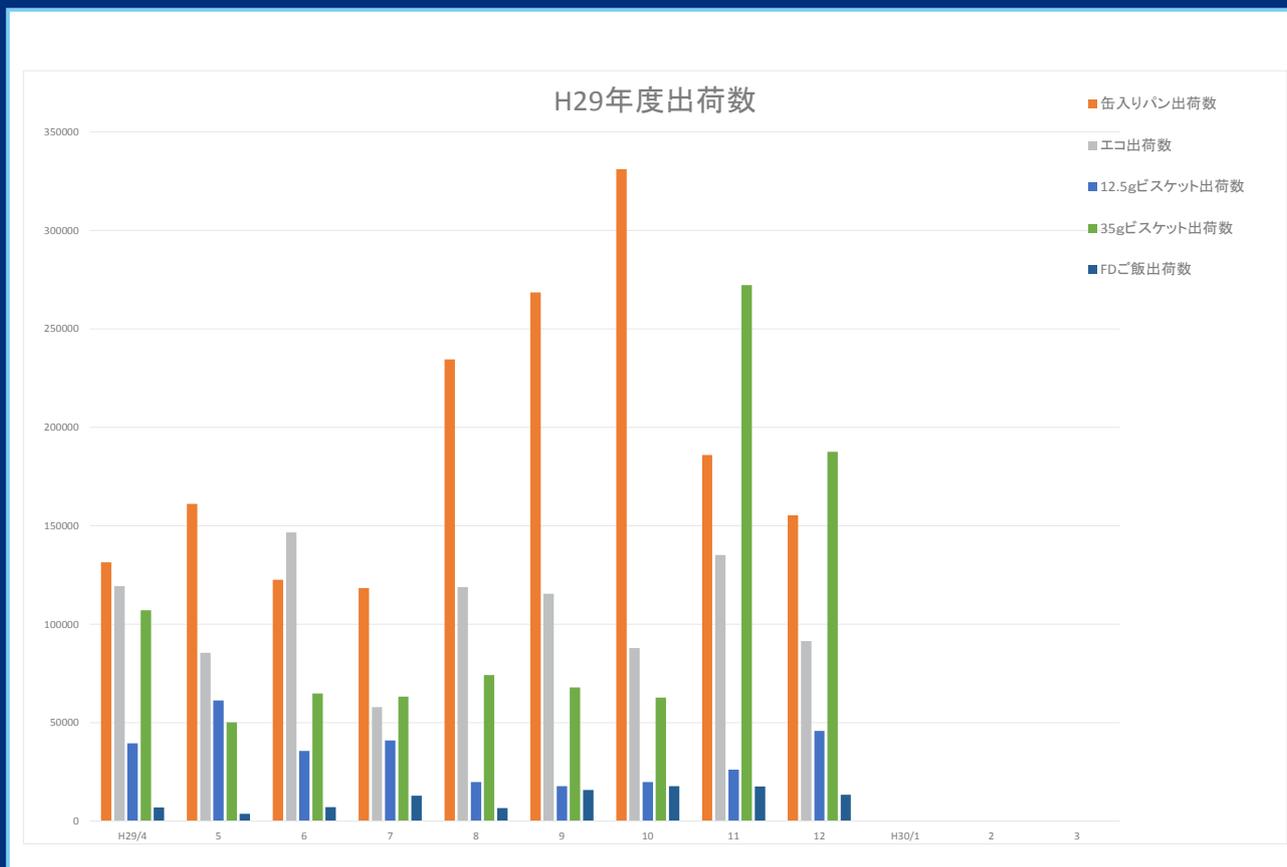
これらの要因として、他社新商品で5年保存又は7年保存のアルミパック入りパンやアレルギー対応のご飯やビスケットが発売されている事、缶からアルミ包材へとゴミを軽減した商品へのシフトが進んでいる事が考えられます。

次年度からの知内FDセンターの開設に伴い、コア粉（気流粉碎米粉）を使用した新商品の開発が早急に求められています。

年度末までの出荷見込みとして災害備蓄用パン50万缶、フリーズドライビスケット46万個、フリーズドライご飯3万袋、エコパッケージ20万個の出荷予定が入っており、今年度末合計で、災害備蓄用パン270万缶、フリーズドライビスケット130万個、フリーズドライご飯15万袋、エコパッケージ150万個の出荷が見込まれています。

安心で安全な製品製造に向けて、利用者の皆さんと共に頑張ってください。

あすなるパン 梅村 雅晴



ホームページがリニューアルされました

ホームページをリニューアルしました。

より使いやすく、よりわかりやすいホームページとなるように、ページ構成やデザインを全面的に見直しました。

今後ともサービス向上のため、ホームページの充実に努めてまいりますので、今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



江差福祉会公式ホームページ
esashi-fukushikai.com/

編集後記

新たな年を迎え、気持ちも一新していこうと意気込んでいる間もなく、近年にはないほどの大雪に見舞われています。

そんな大雪を見ながら思った事を書かせて頂きたいと思います。

近年、あすなろパンの災害備蓄製品のヒットから『あすなろ＝給料が高い。』というイメージが根付きました。国に頼らない福祉を掲げる理事長の実践と結果です。

今春には渡島管内にエリアを広げ知内町の協力の下、FDセンターの開設を控えています。

私自身も法人職員として、当法人の知名度の高さに驚かされる時があります。

法人開設から27年の時を経てこれだけの知名度を得た法人の一職員として、しっかりとした信念を持ち業務に従事していこうと、積もる雪を見ながら喝をいれる今日この頃です。

2018年も皆様にとって、実り多い年となる事をお祈り申し上げます。

あすなろケータリングセンター 野崎